

着こなし提案 プロから気軽に

ファッションパートナー、自宅に派遣

プロのコーディネートを一一般の顧客向けに提供するサービスが広がっている。従来はスタイリスト自身が芸能人や富裕層向けにコーディネートするのが主流だったが、近年は企業が展開するケースも登場。ファッションになじみの薄い層に着こなし方の楽しさを提供し、新しい需要を掘り起こす狙いだ。

スタートアップのファッションパートナー（東京・港）は7月、個人向けスタイリングサービス「STYLELISTE」（スタイリスト）を始めた。利用者の自宅などにスタイリストを派遣。スタイリストが手持ちの服を使

ったコーディネートや買った物時のアドバイスなどを提供する仕組みだ。同社にはフリーランスのスタイリスト約40人を登録。自社のサイト上にスタイリストの活動内容や強みなどの情報を紹介している。利用者は会員登録後、自分に合ったス

タイリストを選んで申し込み。申し込み内容に応じて料金を支払うと予約が完了する。料金は1時間あたり税別1万円からとなる。 「これまでパーソナルスタイリングは非常に高価で富裕層向けだった」とファッションパートナーの小野田史社長は話す。数時間で10万円以上の料金がかかるサービスもあり、「一般の人には縁遠いものだった」（小野田社長）という。

一方で写真投稿サイト「インスタグラム」などSNS（交流サイト）への投稿が一般的となるなか、おしゃれな格好で写真を撮りたいといった要望は広がる。従来は特定の層向けだったスタイリングだが、「一般向けに広がる余地は大きい」（同）と見てサービスを始めた。

個人向けのスタイリング提案では、衣料品の月額制レンタルサービスを展開するエアークローゼット（東京・港）も手掛ける。利用者は自身の体形や色味などを登録。登録情報に基づき、スタイリストが洋服を選んで発送する。一人ひとりにあった洋服を提案するサービスが支持を集め、会員数は25万人を突破した。米国ではステイッチ・フィックスを代表格に、人工知能（AI）とスタイリストの組み合わせでおすすめの衣料品を定額で紹介するサービスが人気を集める。日本にもこうしたトレンドが徐々に波及してきた格好だ。

若者層を中心に嗜好の細分化が進み、ファッションにこだわりを持たず、衣料品にお金をかけない人が増えている。ただ、着こなし術を学び、自らコーディネートをするのができれば、おしゃれへの関心は高まる可能性もある。

アパレル業界は節約志向なども重なり、販売不振に陥っている。こうしたプロによるコーディネートサービスが広がれば、業界にとって低迷に歯止めがかかるきっかけにもなりそうだ。



「STYLELISTE」ではスタイリストが自宅を訪問するサービスなどを提供

選んで依頼、1万円から

個人向けのスタイリング提案では、衣料品の月額制レンタルサービスを展開するエアークローゼット（東京・港）も手掛ける。利用者は自身の体

形や色味などを登録。登録情報に基づき、スタイリストが洋服を選んで発送する。一人ひとりにあった洋服を提案するサービスが支持を集め、会員数は25万人を突破した。米国ではステイッチ・フィックスを代表格に、人工知能（AI）とスタイリストの組み合わせでおすすめの衣料品を定額で紹介するサービスが人気を集める。日本にもこうしたトレンドが徐々に波及してきた格好だ。